



いのち支える自殺対策推進センター ニュースレター 第19号 (2023.5.9)



いのち支える自殺対策推進センター (JSCP) のニュースレターにご登録いただき、どうもありがとうございます。子どもの自殺が深刻化する中、本号では、若い世代に自殺対策を「自分ごと」化してもらうことを目的にJSCPが初開催する「いのち支える動画コンテスト2023」の作品募集について、また、こども家庭庁に「自殺対策室」設置など、子ども・若者の自殺対策に関する話題も複数お届けします。

・ ニュースレター第19号トピックス

1. 【作品募集中・学生対象】 「いのち支える動画コンテスト2023」
自殺対策に関する動画アイデア (絵コンテ) を募集 < 6月18日締切 >
2. 【レポート公開】 令和4年度「大学における自殺対策推進のための研修」
3. 【申込受付中】 令和5年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 一般救急版」 < 5月24日締切 >
4. 【レポート公開】 令和4年度「WHO 自殺対策オンラインミーティング」参加報告
5. 【子どもの自殺対策】 こども家庭庁に「自殺対策室」新設
6. 【自殺統計】 4月から「速報値」の公表がなくなり、「暫定値」に一本化

1. 【作品募集中・学生対象】 「いのち支える動画コンテスト2023」

自殺対策に関する動画アイデア (絵コンテ) を募集 < 6月18日締切 >

2022年の学生 (生徒等も含む) の自殺者数は1,063人で、5年前より30%増加しました。また、若者の2人に1人が「本気で自殺したいと考えた」ことがあるというデータもあります。でも、「自殺対策」と聞くと「他人ごと」と感じる人も少なくないのではないのでしょうか。

JSCPは、学生の視点で「自殺対策」に関するショートムービー (15秒~30秒) を制作していただき、その作品を通してより多くの方に「自殺対策」について知る・感じる・考えてもらうこと、「自殺対策」を「自分ごと」として捉えてもらうことを目的として、「いのち支える動画コンテスト2023」を開催します。

その15秒が社会を変えるきっかけになるかもしれません。
たくさんのご応募をお待ちしています！

【募集期間】 6月18日 (日) まで

【応募資格】 大学・大学院・短期大学・専門学校・高等学校等の学生 (個人またはチーム)

【テーマ】 誰も自殺に追い込まれることのない社会へ ~いまあなたが伝えたいこと~

【作品形式】 ショートムービー (15秒~30秒) のアイデア (絵コンテ形式)

- 【応募部門】 ①～自分のところを守る～「セルフケア・SOS部門」
 ②～死にたい気持ちを抱えた友達を支える～「ゲートキーパー部門」
 ③～その他～「いのち支える自殺対策部門」

【動画制作】 応募者による動画作成をサポート（入選作品が対象）

※必要な諸経費等を1作品につき10万円（税込）を上限に主催者が負担し、動画制作を支援します。制作いただいた動画は、2023年9月10日（日）の「世界自殺予防デー」に各所で放映・配信予定です。

- 募集要項などコンテストの詳細は、下記よりご覧ください。

<https://jscp.or.jp/news/230417.html>

- JSCP子ども・若者自殺対策室長、半谷まゆみからの「学生のみなさんへの大切なメッセージ」（動画）も公開しています。

https://jscp.or.jp/news/230425_2.html



2. 【レポート公開】令和4年度「大学における自殺対策推進のための研修」

JSCPは2023年3月1日～31日の期間に、オンデマンド配信による「大学における自殺対策推進のための研修（令和4年度）」を開催し、全国の大学関係者など計3,955名に受講申し込みをいただきました。本研修は、近年大学生の自殺者数が増加傾向にあることや、大学における自殺対策が十分に行われていないこと（全国大学メンタルヘルス学会「[大学の自殺予防対策に関する現況調査結果報告書](#)」，2020年）を踏まえ、大学における自殺対策を推進することを目的として、JSCPが初めて企画・開催したものです。

筑波大学医学医療系災害・地域精神医学教授の太刀川弘和氏より、「大学ができる自殺対策～ヘルシーキャンパスを目指して～」と題して約60分のご講演をいただきました。

- 詳細は、開催レポートをご覧ください。

<https://jscp.or.jp/training/UniversityKensyu/230301.html>



3. 【申込受付中】令和5年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 一般救急版」＜5月24日締切＞

JSCPは2023年6月4日（日）、令和5年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 一般救急版」を開催します。

本研修は、救急医療に従事する医師、看護師、精神保健福祉士、救急救命士、救急隊員、その他、地域救急医療や地域精神保健福祉に関わる方を対象に、初期対応からアセスメントまで、救急医療現場で役立つ自殺未遂者のケース・マネジメントのポイントを、日本臨床救急医学会が自殺対策の専門家とともに策定したガイドラインに沿って体系的な知識として習得いただくとともに、モデル症例を用いた多職種ワークショップを通じてケース・マネジメントの実践を学んでいただく内容です。

申し込み期限は、5月24日（水）です。ぜひ、お申込みください。

- 研修の詳細・お申し込みについては、JSCPのホームページをご覧ください。

<https://jscp.or.jp/news/230420.html>

4. 【レポート公開】令和4年度「WHO 自殺対策オンラインミーティング」参加報告

JSCPは2023年3月28日～29日、世界保健機関（WHO）がオンラインで開催する自殺対策の国際会議（「Virtual meeting "LIVE LIFE implementation: exchanging knowledge and experience for suicide prevention"」）に参加しました。このミーティングは、自殺対策についてWHO加盟国が情報交換などを行うためのもので、今回が3回目の開催となります。JSCP国際連携室長の仁科有加が、日本の自殺の状況や国家戦略について発表しました。

■ 詳細は、レポートをご覧ください。

https://jscp.or.jp/training/who_onlinemeeting_230328-29.html

5. 【子どもの自殺対策】こども家庭庁に「自殺対策室」新設

2022年の児童・生徒の自殺者数が過去最多の514人となったことを重く受け止め、政府は4月、こども家庭庁に「自殺対策室」を設置しました。

4月27日には、こども家庭庁で「こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議」が初めて開催され、こども家庭庁のほか、内閣官房、警察庁、文部科学省、厚生労働省などが参加しました。議長の小倉将信こども政策担当大臣は「関係省庁の皆様には、これまで以上に、子ども・若者の声に向き合っていただき、原因をしっかりと究明したうえでその原因への対応を進めていくことを考えていただきたいと思います」と述べました。

連絡会議では今後、有識者や当事者からのヒアリング等を実施の上、6月策定の「骨太の方針」等を見据え、子どもの自殺対策の強化に関する施策の取りまとめを急ぐ方針です。

■ 関係省庁連絡会議の詳細については、こども家庭庁のホームページで議事内容や資料が公開されています。

<https://www.cfa.go.jp/councils/kodomonojisatsutaisaku-kaigi/>

6. 【自殺統計】4月から「速報値」の公表がなくなり、「暫定値」に一本化

自殺統計とは、警察庁による自殺に係る統計のことです。月ごとの自殺者数はこれまで、翌月の上旬ごろに「速報値」、中旬ごろに「暫定値」がそれぞれ公表されてきましたが、2023年4月から、暫定値の公表に一本化されました。

■ 自殺統計について、詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/jisatsu/jisatsutoukei-jisatsusyasu.html

■ YouTubeの「JSCP_広報室」チャンネルで、研修動画等を順次公開しています。ぜひご登録ください。

<https://www.youtube.com/channel/UCNWP2O5zTuul-j8GITeKzHQ>

■ Yahoo!ニュース個人で、JSCPとして自殺問題・自殺対策に関する記事を配信しています（JSCP広報室・山寺が執筆）。ぜひご覧ください。

<https://news.yahoo.co.jp/byline/yamaderakaoru>

今後も、JSCPをどうぞよろしくお願いたします。

なお、配信停止をご希望の場合には、以下のページから、お手続きをお願いいたします。

<https://jscp.or.jp/newsletter/>

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 news@jscp.or.jp



<https://www.facebook.com/JSCP.press>



https://twitter.com/JSCP_press